

- ・令和5年7月19日付修正箇所は赤文字
- ・第2次選考記載箇所については7月19日に新たに決定した内容

令和5年1月10日
令和5年7月19日修正
(公財) 日本スケート連盟

2024 スピードスケートユースオリンピック派遣選手選考基準

2024 ユースオリンピック冬季競技大会概要

- (1) 期日
2024年1月19日～2月1日
- (2) 場所
韓国・江原道
- (3) 年齢制限
2006年7月1日から2008年6月30日の間に生まれた者
- (4) 参加資格タイム
国際スケート連盟 (ISU) の設定する参加資格タイムを所持していなければならない。~~(参加資格タイムは未公表。~~
(参加資格タイムは2022年7月1日から2023年12月8日の間にクリアすること)
- (5) 派遣可能人数
男女各最大2名
- (6) 競技種目
男子：500m (2)、1500m (2)、マススタート (2)
女子：500m (2)、1500m (2)、マススタート (2)
男女混合：ミックスチームリレー (男女各1名)
※括弧内は最大枠数で、2022年度に開催される世界ジュニアスピードスケート選手権大会 (ドイツ・インツェル)、2023年度に開催されるジュニアワールドカップ第1戦 (イタリア・バゼルガディピネ) 及び第2戦 (イタリア・コラルボ) の成績により割り振られる。ミックスチームリレーへの出場可否は、2024年ユースオリンピック 500m の成績に基づき最終決定される。

【決定の方法】

派遣選手選考は、以下の基準に基づき、強化部委員会が推薦し、選考委員会又は理事会で承認することによって決定する。

【派遣選手団の編成方針】

1. 日本代表として十分な活躍が期待される選手の中から選考する。
2. 日本代表として十分な活躍が期待できる種目を優先的に選考する。
3. 行動規範を遵守し、活力ある日本スケート連盟を代表するに相応しい選手・役員をもって編成する。

【特記事項】

- ・ 第1次選考を通過した者が対象として第2次選考へ進み、この通過者を対象として第3次選考が行われ、派遣選手が決定する（第2次選考を最終選考とし、第3次選考は行わない）。
- ・ マススタートおよび男女混合ミックsteamリレーの派遣選手は、当該年度のJOCハイパフォーマンスディレクター、スピードスケート強化部長及びジュニア強化責任者が、国際競技会での活躍を前提とした総合的な検討を加えながら、当該派遣選手団の中から出場可能な選手を選考する。
- ・ 本選考基準において、JOCハイパフォーマンスディレクター、スピードスケート強化部長及びジュニア強化責任者の協議による選考を定めている場合において意見の一致に至らなかった場合は、多数決の方法をもって決する。また、ここでの選考は、強化部委員会の出席者（選考の対象とされる選手と同所属や担当コーチなどといった関係者を除く）の3分の2以上の多数をもって変更することができる。
- ・ 選考対象者が、~~新型コロナウイルス(COVID-19)による影響(感染や偽陽性判定、濃厚接触者認定、熱発による感染疑い、国際的な移動に伴う規制等による隔離や行動制限)~~感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律、~~新型インフルエンザ等対策特別措置法~~その他の法令による公的な規制により、~~選考対象競技会に出場できなかった場合等~~、本選考基準による適正な選考が著しく妨げられたと認められた場合は、強化部委員会の協議によって、選考基準の関連する部分に変更される場合がある。
- ・ 参加要項に変更があった場合は、それに準じて選考基準を再検討して変更する場合がある。

1. 第1次選考

【選考年齢区分】

上記年齢制限の条件を満たす者

【選考基準】

- (1) 2022年度に開催される第43回全国中学校スケート大会又は第13回全国高等学校選抜スピードスケート競技会のいずれかにおいて、以下の成績（上記年齢制限の条件を満たさない者は順位の上でも除外する。下記(2)及び(3)の順位において同様とする。）を残した者。
 - ① 第43回全国中学校スケート大会においては、男女500m・男女1500mの各種目上位3位以内。
 - ② 第13回全国高等学校選抜スピードスケート競技会においては、男女500m・男女1500mの各種目上位3位以内。
- (2) 当連盟が公表する2022年度タイムランキング（高地除く。(1)で選考された者は、その者が選考された種目のタイムランキングから除く。）において、男女500m・男女1500mの各種目上位4位以内の者。
- (3) 当連盟が公表する2023年9月11日時点の2023年度タイムランキング（高地除く。(1)(2)で選考された者は、その者が選考された種目のタイムランキングから除く。）において、男女500m・男女1500mの各種目上位2位以内の者。ただし、(2)のタイムランキング4位の者のタイム（2022年度）以上のタイム（2023年度）を有していなければならない。

【その他】

- ・ 上記の基準を満たした者には、当該種目に限り、2023年度に開催予定の第30回全日本スピードスケート距離別選手権大会ジュニア派遣選手選考部門への参加資格を与える。
- ・ 上記選考基準を満たした者は、ユースオリンピック派遣候補者として登録し、日本オリンピック委員会（JOC）による派遣前手続きを実施する場合がある。

- ・ 上記の選考基準で判断できない場合は、強化部委員会の協議によって選考する。

~~第2次選考以降の選考基準は、ISUによる国際競技会、次年度に開催される国内競技会、等の詳細に関する通知がなされた後に決定する。~~

2. 第2次選考

【選考年齢区分】

上記年齢制限の条件を満たす者

【選考基準】

対象競技会：第30回全日本スピードスケート距離別選手権大会

※距離別選手権部門及びジュニア派遣選手選考部門の両部門を対象とする。

- (1) 対象競技会の距離別選手権部門及びジュニア派遣選手選考部門の両部門における下記①②の距離の全レースを対象として、選考年齢区分に適合する選手（以下、適合選手）の記録の最上位者を各1名選考する。

① 男女 500m

② 男女 1500m

各距離で最上位者が複数名の場合（記録が同タイムとなった場合）は、もう一方の距離の全レースを対象とした記録の上位者を選考する。

それでも優劣を決しない場合は、選考時点のJOCハイパフォーマンスディレクター、スピードスケート強化部長及びジュニア強化責任者の協議により、メダル獲得の可能性を勘案し、選手を選考する。

- (2) ①と②で選考された選手が同一の場合は、適合選手の両部門の全レースを対象とした記録で各距離2位の選手の対象競技会における記録と、上記①②の距離で選考された選手の選考された距離の対象競技会における記録を比較し、最上位者への記録達成率^{※1}が高い方の選手を選考する。選考対象となる選手が複数名となる場合は、上記①②の距離のいずれかも一方の距離の適合選手の両部門の全レースを対象とした記録の上位者を選考する。それでも優劣を決しない場合は、選考時点のJOCハイパフォーマンスディレクター、スピードスケート強化部長及びジュニア強化責任者の協議により、メダル獲得の可能性を勘案し、選手を選考する。

- (3) 上記の選考基準で判断できない場合は、強化部委員会の協議によって選考する。

【特記事項】

- ・ 選考された選手のコンディション不良等の不測の事態に備え、対象競技会における適合選手の中から選考時点のJOCハイパフォーマンスディレクター、スピードスケート強化部長及びジュニア強化責任者の協議により、派遣リザーブリスト登録者を男女各2名まで選考する場合がある。
- ・ 2023年7月19日現在において得られている日本の国枠は、男子2、女子0である。よって上記選考基準で選考された女子選手については、日本の国枠が得られるまでは本競技会へ派遣される予定の選手、との扱いとなる。

※注1「最上位者への記録達成率」の算出方法

- ・ 上記(1)において、両部門の男子500mを対象とした記録で最上位者の記録を36,00とする。また、両部門の男子1500mを対象とした記録で最上位者の記録を1.55,00とする。

- 上記（２）において、両部門の男子 500m を対象とした記録で 2 位の a 選手の記録を 36,25 とする。a 選手の「最上位者への記録達成率」は $36.00 \div 36.25 \times 100 = 99.31\%$ となる。
- 上記（２）において、両部門の男子 1500m を対象とした記録で 2 位の b 選手の記録を 1.55,50 とする。この選手の「最上位者への記録達成率」は $115.00 \div 115.50 \times 100 = 99.57\%$ が記録達成率となる。
- a 選手と b 選手のいずれが優位か決めなければならない場合、「最上位者への記録達成率」の高い b 選手が優位となる。

【ユースオリンピック参加資格タイム】

	女子	男子
500m	45,00	41,00
1500m	2.20,00	2.07,00

※ 上記の参加資格タイムを 1 種目以上有する選手は、どの種目にも出場することができる。